



展覧会名 ジュエリーの牽引者 菱田安彦回顧展

会期 2024年3月23日（土）－2024年6月17日（月）

会場 山梨ジュエリーミュージアム
山梨県甲府市丸の内1-6-1 山梨県防災新館1階（山梨県庁）

入館料 無料

お問合せ 山梨ジュエリーミュージアム TEL 055-223-1570

展覧会概要

山梨ジュエリーミュージアムは、県立宝石美術専門学校（通称・宝美）の附属ミュージアムとして2013年に開館し、地場産業のより良い発展のために、県内の宝飾の歴史を含め様々な展示を行っています。今展示『ジュエリーの牽引者 菱田安彦回顧展』では、宝美の設立に尽力した彫金家 菱田安彦（1927-1981）の代表作を含む貴重な作品群を展示します。

1977年に宝美設立の基本構想策定委員会に加わり、副委員長として開校を心待ちにしていたものの、開校直前に他界し開校・入学式に立ち会うことは叶わなかった菱田の作品を当館で展示することには大きな意義があるでしょう。

戦後日本におけるジュエリーの草創期を牽引し、作家として、教育者として多くの功績を残した菱田の作品は、今見てもなお新しい発見があり、色褪せることなく軽やかに時代を飛び越え、私たちの目の前に迫ります。

青年時代から晩年までの作品が一堂に会する貴重な機会としての回顧展をどうぞご覧ください。

主な展示作品



1. 上：ブローチ・帯留め 1977年
中・下：ブローチ 1977年



2. リング・ブローチ 1974年



3. リング 1969年



4. ブローチ 1968年



5. ブローチ 1967年

作品すべて 菱田安彦

菱田安彦 略年譜

- 1927年 8月23日、岐阜県に生まれる。
- 1952年 東京美術学校(現・東京藝術大学)工芸科彫金部卒業。
- 1954-55年 国立ローマ工芸学校に留学。ヨーロッパ各地で研鑽。
- 1956年 UR アクセサリー協会(現・UR「杜」のジュエリー協会)設立。
- 1957年 武蔵野美術短期大学設置に参加。
- 1958年 クラフトセンター・ジャパンの設立メンバー。
- 1964年 日本ジュエリーデザイナー協会(現・公益社団法人日本ジュエリーデザイナー協会)設立に尽力、10年間理事長を務める。
- 1965年 武蔵野美術短期大学デザイン科工芸デザイン専攻にアクセサリーコースを開設。
- 1977年 山梨県立宝石美術専門学校設立の基本構想策定委員会副委員長を務める。
- 1981年 4月4日、逝去。(享年53)
4月13日、山梨県立宝石美術専門学校が開校。

体験工房のご案内

山梨ジュエリーミュージアムでは、土、日、祝日にジュエリー制作が体験できるプログラムをご用意しています。ジュエリー産地、山梨で活躍している職人の指導のもと「山梨ジュエリー」のワザを体験できます。



広報用画像

本展覧会をご紹介して頂ける場合に限り、掲載の作品画像データを提供いたします。当館サイトからダウンロードできますので、メールでお問い合わせください。ダウンロードアドレスをご連絡します。なお、お問い合わせの際は、下記内容を合わせてお知らせください。

- | | |
|--------------------|-----------|
| ① 希望する作品画像の番号・タイトル | ④ 所在地・電話 |
| ② 媒体名・掲載(公開)予定日 | ⑤ メールアドレス |
| ③ 御社名・ご担当者名 | |

【重要】プレス画像のご利用にあたって、必ずお読みください。

- ① プレス画像の利用は、当該画像に係る展覧会または当館に関する記事掲載の目的での利用に限ります。
- ② プレス画像の掲載に際しては、作家名、作品名、作品情報等在所定のクレジットを必ず記載してください。
- ③ 校正の段階で原稿を山梨ジュエリーミュージアム 広報担当宛(jewelry-museum@pref.yamanashi.lg.jp)にお送りください。
- ④ プレス画像は全図でご使用いただき、トリミングや文字乗せ等は行わないでください。また、画像が無断で第三者に利用されることのないよう、コピーガード、転載不可の明記など、必要な措置を講じてください。
- ⑤ 画像データは使用後速やかに破棄してください。データの保存および第三者への提供はお控えいただくようお願いします。
- ⑥ 取材の内容及び借用画像が収録・掲載されたサイト・番組等はDVD1枚、印刷物については、現物を1部もしくはコピーの場合は3部ご寄贈ください。
※媒体掲載にご使用いただける印刷用の高解像度(300-400dpi)とオンライン用の低解像度(72dpi)の2種類の画質をご用意しております。